

## 活動内容報告書

	団 体 名	特定非営利活動法人メッシュ・サポート
直 近 3 か 月 活 動 報 告	2021年 4月 1-30日	ヘリ活動 計15件＝現場救急7件・転院搬送6件・災害救助(新型コロナ対応)2件 飛行機活動 計11件＝転院搬送2件・離島診療所医師派遣9件
	2021年 5月 1-31日	ヘリ活動 計15件＝現場救急6件・転院搬送8件・災害救助(登山者遭難捜索)1件 飛行機活動 計 6件＝転院搬送1件・離島診療所医師派遣5件
	2021年 6月 1-30日	ヘリ活動 計14件＝現場救急7件・転院搬送6件・災害救助(水難事故捜索) 1件 飛行機活動 計13件＝転院搬送5件・離島診療所医師派遣8件
2007年6月13日～2021年6月30日までの累計活動件数は1916件（ヘリ1689件・飛行機227件）		



与論徳洲会病院から友愛医療センターへの転院搬送（与論空港）



伊江村立診療所から県立北部病院への転院搬送（名護消防屋上ヘリポート）

**コメント**

■ 沖縄本島北部医療用ヘリ活動  
 沖縄緊急時において15分以内の初期治療の可否が救命率に大きく左右します。ドクターヘリは15分以内に医師が現場に駆け付け、救命治療を行える体制構築を目標としています。沖縄県のドクターヘリは浦添市に配備されており、かつ、沖縄県本島の最北端の救命病院は名護市となります。北部救急救助ヘリの運営により、北部地域の救命活動に取り組んでいます。

■ 琉球諸島医療用飛行機活動  
 沖縄県では1972年の日本復帰以降、陸上自衛隊および海上保安庁への災害派遣要請による離島急患搬送が開始され、2008年に沖縄県本島にドクターヘリが導入されましたが、先島・大東諸島からの長距離離島における迅速な搬送体制の構築は未だ沖縄県の命題であり、また感染症患者の搬送や、身体的に公的交通手段では帰島できないなどの離島特有の問題も介在しています。改善策として、飛行機を活用した南西諸島全域の医療支援に取り組んでいます。